

テーマ 重さ

園名	もりのおがわ保育園
日時	2026年2月6日・8日・9日
実践者	岡山理絵子
対象年齢人数	1歳児2名 2歳時2名 4歳児2名

テーマを設定する

- ・試すことによって重さが違うことに気がつく

環境をデザインする

○準備物 重さの実験(stem)・ブロック(プラスチック)・木製積み木

探求活動を実践する

子どもの活動

- ・高さの違う滑り台を用意する。車を走らせると速度が違うことに気が付き「遅い」「早い」と伝えてくる。自分の車が早いと早く滑る台を選んでいた。時々低い台を滑らせ遅い事に気が付くと「あれれー」とおどけている。比べる子とは始めていたが高さの違いには気が付いていない様子であった(3歳児)
- ・天秤に物を入れたがり、「ゆらゆら」と遊ぶ。傾きには表情を変えていた。物を入れ傾いたり、揺れる事を楽しんでいた。(3歳児)
- ・5歳児は最初使い方が分からない様子だったので、同じものを入れた時と違うものを入れた時の傾きを見せてみた。一人の子が「これは同じってことかな」と伝えていた。

プログラム 活動報告書



振り返り・気づき

振り返り

幼児向けに出してみたが小さな子たちもそれぞれの目線で変化を楽しめることが分かった。どの年齢であっても比べる事から始まりその先に興味や発見が向かうことが分かった。素材の違いも試していたので、素材の違いにも気が付いていけるような実験の機会を作っていきたい。

反省・次回への課題

天秤の乗せるところが大きく様々なものを試すことが出来る事が良かった。重さに気が付くまでにいろいろ試すことのできる環境を用意していきたい